



校長室だより 2

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和7年6月5日

第8号

歯と口の健康を考える6月

4日(水)の5限目、5年教室ではインターネットを活用して「全国歯みがき大会」に参加していました。動画の中では、口中の細菌(歯垢:プラーク)についての説明がありました。その後子供たちは手鏡を使って自分の口の中をおそるおそるチェックしていました。給食後の歯磨きをしたばかりのはずなのに歯垢らしき物が採取できた子が多かったようです。その後は、正しい歯みがきの方法やむし歯・歯肉炎予防のためのポイント等の学習へと続きました。



本校ではこうした「全国歯みがき大会」への参加のほか、みがき残しを調べる染め出し液チェックについてもいくつかの学年で行う予定です。「健康つばきッズ」の重点項目が今年度は「歯みがき」ではなくなりましたが、歯と口の健康のためにできることは引き続きしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

6年生にインタビューされました

去る5月28日(水)と29日(木)、6年生数名が国語の「聞いて、考えを深めよう」の学習の一環で校長室にインタビューにやってきました。事前に担任の山本先生から連絡を受け、約束していた時間に校長室で待っていました。せっくなので職員室の澤田先生に写真を撮ってもらい、こちらも逆取材です。



今回は「自分の学校のよいと思うところ」について、そこに関わっている人に話を聞くことで自分の考えを深める、という学習なのだそうです。また、一連の活動を通して「インタビューの方法」についても学習します。インタビューの一部始終を交代で撮影し合いながらの学習でした。



今回来てくれた6年生からの質問のテーマには「校長杯計算大会」と短歌の取組(「校長杯大会」と毎月の短歌)のことが多くありました。どれもまず、「いつ始めたのですか」「どうして始めたのですか」の質問を受けました。私は二つとも、初めて校長になった前々任校で「子供の基礎学力を伸ばしたい」「全校で一つのことに取り組むことでよい交流の機会としたい」「自分と友達の頑張りやよいところを発見して、学校生活の一つの楽しみ、励みにしてほしい」といった思いから始めた取組だと話しました。



「村椿小学校で始めた取組ではないの?」と、少し驚いたようながっかりしたような表情を見せる子もいました。そこで私は、計算も短歌も過去一番の盛り上がりを感じるのはこの村椿小だということを付け加えました。「だから、この学校には勉強好きな子供が多いんだなあ、と嬉しく思っていますよ」と話すと、ホッとしたような嬉しそうな反応が見られました。

「村椿小学校の子供にどんな学校生活を送ってほしいと思っていますか」と質問してくる子もいました。私は「自分たちで『こういうことがしたい、こんな学校にしたい』と思うことがあったら、なるべくそのことを形にできるように動いてほしいです。

『どうせ無理』と思わず、学級や児童会で話し合ったり、先生に相談したりして、一つでも希望が実現できるようにしていきましょう」と話しました。「〇〇さんは、学校でこういうことをやってみたいなあ、ということはありませんか?」とこちらから逆質問すると「えっ、いやそこまでは考えていませんでしたけど…」と、子供の方がちょっと困惑していましたが、それこそ、子供たちからの要望があれば、村椿小学校が発祥の「第1回校長杯〇〇大会」を新たに作ってもいいと、私は思っています。

ともあれ、楽しいインタビュータイムでした。校長としての願いとねらいをもって取り組んでいることを、「村椿小学校のよいところ」と捉えてくれている6年生がいることを嬉しく思いました。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()

地震と津波を想定した避難訓練を行いました

3日(火)の避難訓練は、地震発生と大津波警報発令を想定したものでした。この想定での訓練は例年村椿保育所と合同で実施しています。今回も午前10時に大地震が発生したとの想定に合わせ、保育所から幼児と付き添いの職員、ボランティアの方々が本校体育館の社会体育用の階段と出入り口を經由して、避難して来ました。

校内では全校児童と教職員が校舎3階に避難するように動くとともに、6年生と一部教職員は幼児の誘導(2階から3階の図工室まで)を担当しました。6年生は「黒部市少年消防クラブ」の一員として、落ち着いて行動していました。

地震発生から10分ほどで、全員の避難が完了したことが校長に報告され、訓練が無事に終わりました。

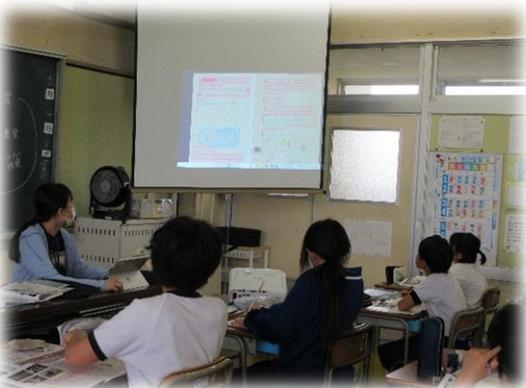
自分の命は自分で守ることを、これからも折に触れて確認していきます。

シリーズ「教室におじゃまします」6月3日(火)4年社会科の巻

4年の社会科はわかば級担任の渡邊優菜先生が担当しています。わかば・なかよしの2人も合流し24人での学習です。渡邊先生は今日の学習の流れを黒板に書きました。誰でも見て分かりやすいようにとの工夫です。

4年生では専用の副読本『きょう土のすがた 富山県』(富山県小学校教育研究会編集、富山県教育会発行)を主に使い、自分たちの都道府県である富山県について学習します。この日はまず「市町村テスト」です。何回か繰り返している形式の小テストに5分間で取り組みました。

次は富山県の林業についての学習です。これまで工業、農業等について学習してきたと同様に、初めは『きょう土のすがた』を一読し、その後は各自でノートにポイントをまとめます。渡邊先生が前回まで(農業、水産業)の「いいねノート」を大きく映し出すと、皆、興味津々に注目しました。「色を使って見やすく書いているね」「自分の感想もたくさん書いてあるといいね」などと確認しました。すると、「先生、もう少し時間がほしいです!」「じゃああと5分延ばそうか?」といったやりとりもありました。次は自分のノートが選ばれるといいな、と思うからか、皆真剣にノートをまとめていきます。前向きな気持ちで取り組むことから学習内容が身に付いていくのだろうと思います。



<おまけのひとりごと> 6年生からの質問の中には「どうして校長室をいつも開放しているのですか」というのもありました。私はなるべくいろいろな人(子供)のことが知りたいからです」と答えました。「あと、楽しいときだけでなく、困ったときや相談事があるときにも『あ、そういえば校長室は開いているかな? 校長室に行こうかな』と思い出してくれる人がいるといいなとも思っています」と話しました。質問者は小さくうなずきながら聞いてくれました。今回2時間にわたって校長室に来てくれた6年生は8名ほど。どの子も言葉遣いや態度がいつも以上にしっかりと丁寧で、ああ、これも大事な国語の学習だな、と感じました。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名()